

熱中症発生状況について

近年の猛暑により、熱中症による救急搬送者数は増加の傾向があります。今後、気候変動による気温の上昇により、搬送者数や死亡者数(超過死亡)がさらに増加することが予測されています。2ページ目以降に、茅ヶ崎市消防本部管内の熱中症発生状況をまとめました。



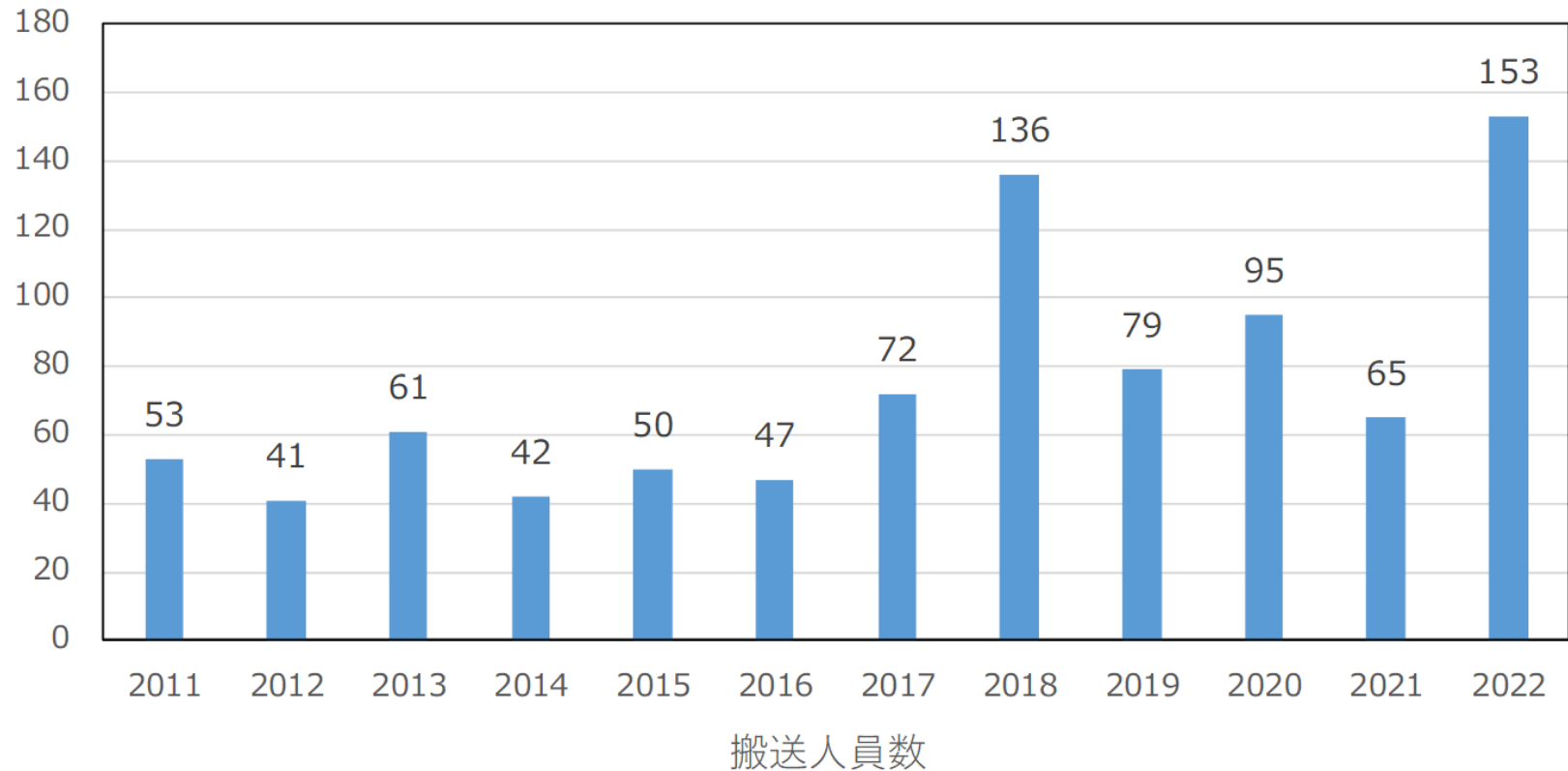
イラスト出典:気候変動適応情報プラットフォーム

2023年3月
環境政策課

健康 | 熱中症発生状況(現在まで)

茅ヶ崎市消防本部管内の熱中症件数は、**2022年に153人を記録している。**

今後、市内でも気候変動及び高齢化に伴い、熱中症による救急搬送者数は、さらに増加すると予測される。



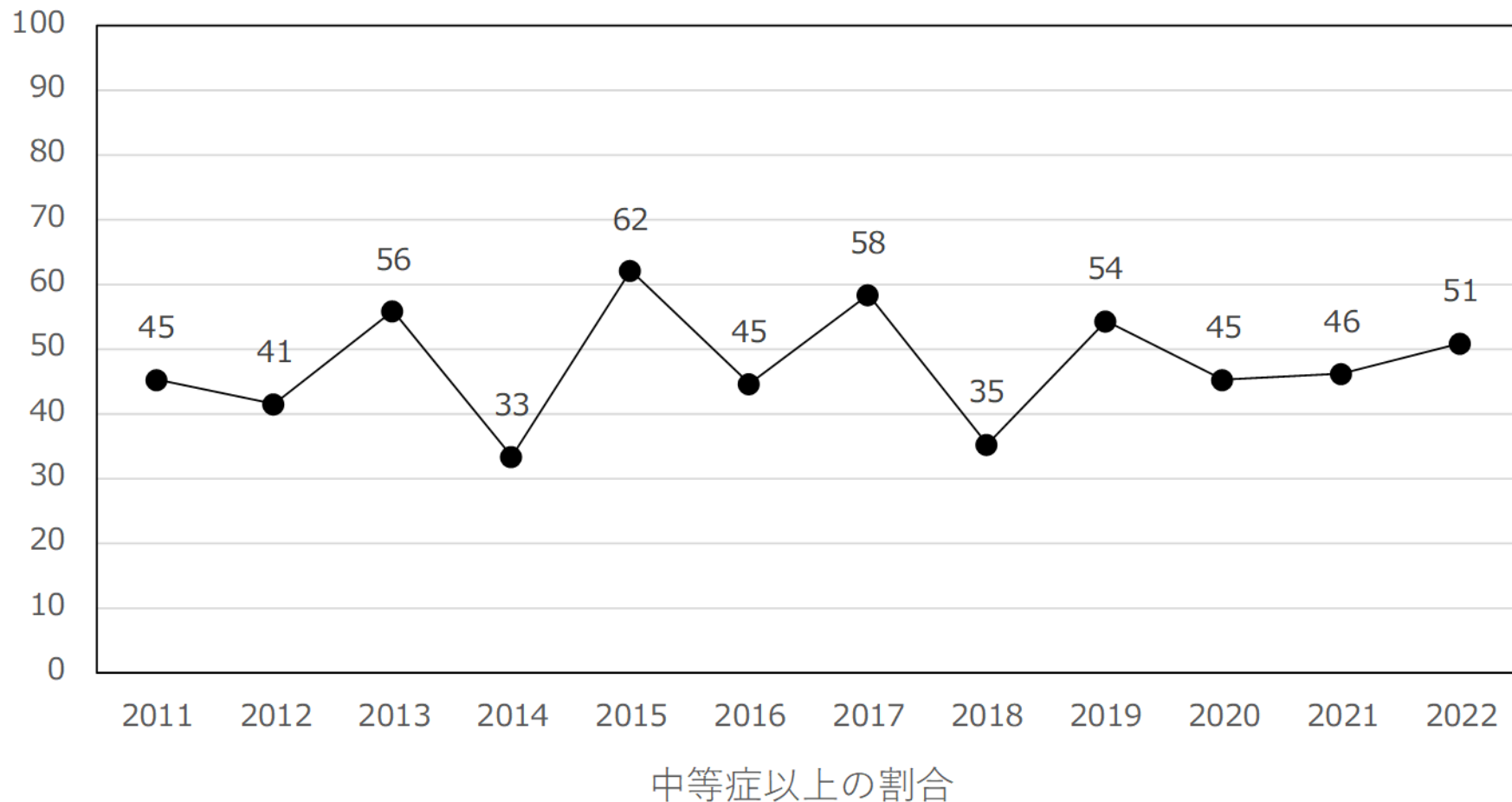
茅ヶ崎市消防本部管内の熱中症搬送人員数の推移

出典:茅ヶ崎市消防本部

※2022年からは寒川消防管内を含む

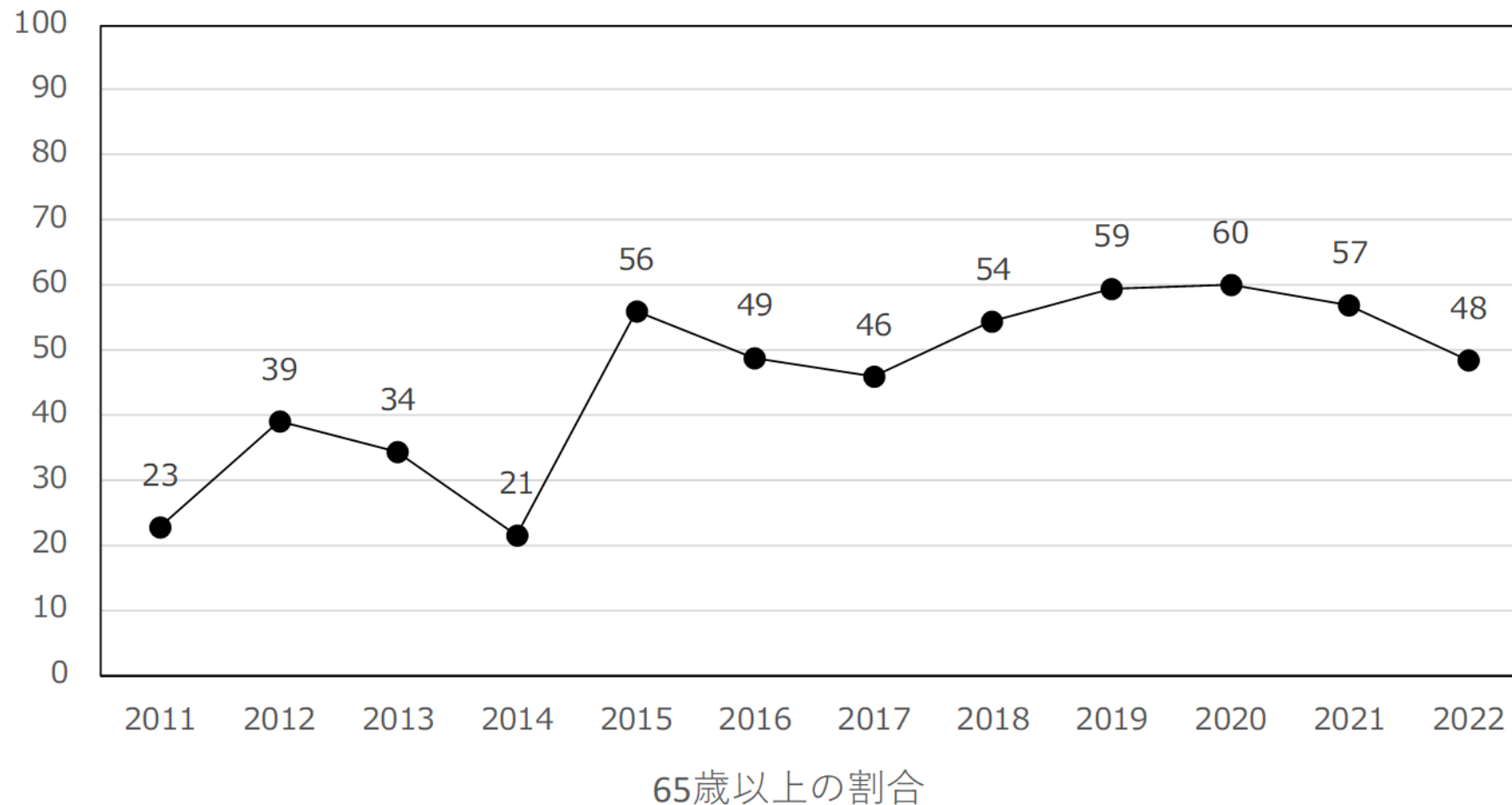
健康 | 熱中症(中等症以上の割合)

救急搬送人員の初診時程度をみると、2022年には約51%が入院の必要がある中等症以上と診断されている。



健康 | 熱中症(65歳以上の割合)

2015年以降、救急搬送人員の約半数程度が高齢者(65歳以上)となっています。



健康 | 熱中症(発生場所)

救急要請時の発生場所では、住宅等居住場所が全体の34.6%を占め最も多く、次いで道路・交通施設が25.5%を占めていました。

事故発生場所

2022年度

